

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	都市計画部	
関係部		

基本施策	II-7 魅力ある居住・交流環境を創出する
個別施策	② つくば駅周辺地区の活性化
個別施策の方向	つくば駅周辺は、つくばの玄関口や広域的な商業・業務拠点として、にぎわいのある都市空間の形成を図る。また、景観誘導の実施などにより、特徴ある良好な景観の保全・育成を推進する。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	10,053	人件費	26,196	事業コスト	36,249				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	10,053
H28年度	決算	事業費	12,860	人件費	34,231	事業コスト	47,091				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	12,860
H29年度	決算	事業費	11,564	人件費	23,646	事業コスト	35,210				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	11,564
H30年度	決算	事業費	22,736	人件費	40,130	事業コスト	62,866				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	22,736

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	60.3%	41.1%	-19.2%
23) つくば駅周辺のにぎわい			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果	
総合評価	B 施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>拙速なプランニングはまずいが、土地、まちづくりに関する施策を立てるときには市場原理ということも抜きにしては語れない。今後そのバランスを考慮したまちづくりプランを立てて、かつそれを具体的な方法論として工程にのせていくことが、今問われている。そこは市がハンドリングする仕事として検討されたい。</p> <p>その際に、できたものに対して意見を問うのではなく、プランニングの段階から市民の意見を積極的に取り入れ、スピード感を持って今後検討されたい。</p> <p>さらに、民間の活力を引き続き生かして進められたい。</p>

施策の 取組概要	<p>ペDESTリアンデッキ、公園等の公共空間を賑わいや活力を生み出す場所として有効活用していくため、実証事業やプレイスメイキング事業の効果分析を通じて、本格活用に向けた制度設計やルールづくり等に取り組む。</p> <p>国家公務員宿舎等跡地の売却にあたり、関東財務局等と協議しながら、地区計画の決定や無電柱化条例等による街並み・景観の誘導を図る。</p> <p>中心市街地の将来像やコンセプトを共有するための「つくば中心市街地まちづくりビジョン」に基づく戦略を策定する。</p> <p>センタービルの再生手法等について検討を進める。</p>
施策の 成果	<p>登録団体（13団体）の実証イベントを通年で実施し、一定の賑わい創出に繋がった。また、騒音調査等により住環境への影響を把握した。</p> <p>国家公務員宿舎跡地の売却にあたり、売却時期や売却手法について関東財務局等と協議を行い、良好な街並み誘導に向けた調整を進めた。</p> <p>平成30年7月に中心市街地の将来像やまちづくりのコンセプトを示す「つくば中心市街地まちづくりビジョン」を策定した。</p> <p>新たな場づくりを行うプレイスメイキング事業については、8、9月の土日にバーベキュー場、カヌー体験を実証的に実施し、一定の集客と周辺施設への波及効果が確認できた。</p>
課題と 改善目標	<p>これまでの実証事業等の成果、課題を踏まえながら、市内の事業者や団体等がプレイヤーとして持続的にまちの活力を生み出していけるよう、公共空間活用にあたっての具体的な制度や仕組みづくりに取り組むとともに、「つくば中心市街地まちづくりビジョン」に掲げる将来像やまちづくりのコンセプトの共有を図りながら、ビジョンの実現に向けた戦略づくりを市民等の意見を取り入れつつ進める。センタービルの再生について、引き続き区分所有者との調整を進める。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。